



理事長 あいさつ

理事長 松下英風

「中日会報」 第216号 令和7年9月

去る六月八日に開催されました理事会、総会において役員改選が承認され、公益社団法人中部日本書道会理事長の責務を仰せつかることとなりました。

副理事長は三名とし、事務局長と共に全て改選となりました。副理事長には後藤啓太先生、山本雅月先生、梶山盛涛先生に、事務局長には佐野翠峰先生にご就任いただきました。大変頼もしいメンバーとなりました。

企画委員会の組織改革も行い、新たな空気のもと、チーム一丸で励んでまいりたいと思っております。今期の事業は既に決まっておりますので、来期より、新しく事業改革もして行きたいと思っています。

また、第74回中日書道展は皆様方のご協力のお蔭をもちまして、愛知県美術館と市民ギャラリーの二会場にて開催されました。第73回・創立90周年より、企画でありました役員による席上揮毫も行い、好評で大盛況でした。生で作品制作へのスタイルがみられることもあり、入場者数も増えております。

出品点数は少子高齢化の時代的流れで減少傾向ではありますが、今回も微減にとどまりました。さらに若い世代の入場者も多く目立っていたことが嬉しいことであります。諸先生方のパフォーマンスや作品にふれ、願わくは、将来の中日書道会を担っていく人材へと育ててほしいものです。

喜ばしいといえば、「書道」が国の登録無形文化財となり、順当にいけば、令和8年の末には、ユネスコの無形文化遺産に登録される予定であります。そのため近年、日本各地で、書道会を牽引されている先生方による席上揮毫や講演会、各学校への派遣が行われ、書芸術や書文化を伝播し、書の裾野を大きく広げていくよう活動が盛んになってきております。今年5月には、大阪・関西万博でも三人の書家によるパフォーマンスがオープニング式典でも行われ、各書道団体が垣根を越えて協力し合い、オールジャパンでの作品展覧会があり。場内のVR展示なども、世界に発信することができました。

そして、我々の中部日本書道会は、発足当時から他ではみない、中部書壇の各会派が垣根を越えて集結しています。数田先人の先生方の献身的な努力により発展してまいりました。来年は、第75回記念中日書道展。そしてユネスコ無形文化遺産登録になると思います。今後、副理事長、事務局長、企画委員と共にグローバルで楽しい企画を練っていきたいと思っています。

何事も行事を成すことには、本部・支部を問わず、会員の皆様が一人でも多く出品・ご参加していただきたく思います。それが成功につながっていきますので、何卒ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。